

# みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2014/04/15 Vol53 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com

<http://www.mmirai.com> (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

## 平成 26 年 第 1 回 印西市議会定例会報告 (2)

現在、平成 26 年第 1 回定例会の開催中です。一般質問が終わり、平成 26 年度の当初予算他の審議が行われています。(今回の定例会は 3 月 20 日 (木曜日) まで行われる予定です。)

**2/25(火曜日)に一般質問に立ちました。** 以下、市当局への質問と回答です。

### 3. 保健医療体制の強化と印西市について

(1) 市内で発生する緊急患者の搬送先はどうなっているか。

(小児救急と成人の救急体制に分け、回答をお願いします。)

【回答／健康福祉部長】 救急患者の搬送先について、印西地区消防組合(\*)に確認したところ、平成 25 年 4 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日までの救急搬送件数 2,491 件のうち、市内の日本医科大学千葉北総病院へ 710 件で全体の 28.5%を占め、次に、我孫子市の平和台病院へ 290 件、11.6%、鎌ヶ谷市の鎌ヶ谷総合病院へ 263 件、10.6%、船橋市のセコメディック病院へ 245 件、9.8%、成田市の成田赤十字病院へ 153 件、6.1%の順となる搬送先病院となっています。

また、小児・成人の救急搬送件数の内訳としましては、15 歳までの小児が 335 件、16 歳以上の成人が 2,156 件となっています。

(\*) 印西地区消防組合・・・ 消防／救急は印西市と白井市から構成される一部組合の事務であり、印西市直轄の事務ではありません。

【再質問】 15 歳までの小児の搬送先は？

【回答／健康福祉部長】 15 歳までの小児の救急搬送先でございますが、335 件の内、日本医科大学千葉北総病院へ 110 件で全体の 32.8%を占め、次に、八千代市の東京女子医科大学八千代医療センターへ 79 件、23.6%、船橋市のセコメディック病院へ 23 件、6.9%、鎌ヶ谷市の鎌ヶ谷総合病院へ 17 件、5.1%、成田市の成田赤十字病院へ 16 件、4.8%となっております。

【再質問②】 印西総合病院への救急搬送実績は？

【回答／健康福祉部長】 平成 25 年 12 月末現在の印西総合病院への救急搬送件数は、11 件です。

・・・ 印西総合病院は既に「救急指定」されていますので、今後、搬送先として増えていくことを期待しています。

(2) 印西総合病院との関係について

① 平成 25 年度どのような事業を委託し、その成果はどのようなものか

【回答／健康福祉部長】 当該病院へは、胃・乳・子宮頸部・前立腺の各種がん検診事業、40 歳から 74 歳までの国保加入者を対象としております特定健康診査、75 歳以上の後期高齢者健康診査及び 20 歳以上の女性で特定年齢を対象とする骨粗鬆症検診の業務を委託しております。

委託の成果としましては、検診の実施医療機関が増えた事で市民にとって検診を受けやすい環境になり、特に女性特有のがん検診、乳・子宮頸がんの個別検診の受診率が向上いたしました。

【再質問】 H26 の予定はどうなっていますか？

【回答／健康福祉部長】 印西総合病院との平成 26 年度の業務については、平成 25 年度と同様に、

乳がん、子宮頸がんなどの各種がん検診、また、特定健康診査等に関する個別検診について業務委託を予定しています。

**【再質問】 印西総合病院に対する補助は？**

**【回答／健康福祉部長】**以前にも、答弁していますが、他の病院への補助と同様、救急医療に要する実績に応じた補助については、検討してまいりたいと考えています。

## ② 病児・病後児保育の実績はどのようなものか

**【回答／健康福祉部長】**現在、印西総合病院と委託契約により実施しております病児・病後児保育の実績につきましては、平成25年4月から平成26年1月までの利用延べ児童数は245人となっており、1カ月平均24.5人の方が利用しています。また、登録児童数は240人となっています。

市としましては、児童が病気の回復期又は病期中のため、集団生活や家庭での育児が困難な期間、当該児童を一時的に預かるこの事業を実施することにより、保護者の子育てと就労等の両立を支援するとともに、児童の健全育成及び資質の向上に寄与しているものと考えています。

**【再質問】 定員がいっぱいになって預かれなかった時はなかったか。**

**【回答／健康福祉部長】**今年度中におきましては、定員まで児童を預かった日が2日あり、その際には、後から申込まれた方の利用をお断りしたことがあったと報告を受けています。

**【再質問】 委託の内容と今後も続けていくのか。**

**【回答／健康福祉部長】**病児・病後児保育の内容でございますが、印西総合病院と業務委託契約を締結し、病院内の保育スペースにおいて、看護師1名、保育士2名を配置し、定員5名で実施しています。今後につきましては、現在の登録が240人となっていることもあり、保育サービスの充実といった観点からも、引き続き委託契約により実施してまいりたいと考えています。

## (3) 日本医科大学、順天堂大学とはどのような連携を行なっているのか。

**【回答／健康福祉部長】**まず、日本医科大学との連携については、市が主催しております1歳6か月児や3歳児などの乳幼児健診及び健康づくりセンターを利用する際の健康チェックに要する医師の派遣をお願いしています。

また、市民の安全・安心の確保を図る観点から当該病院へは、救命救急センターに要する経費の一部補助として2千万円を上限に平成24年度から補助金を支出しています。

次に、順天堂大学との連携につきましては、今のところございませんが、先日、印西市と順天堂大学とは、相互の発展に資するための連携協力に関する協定を締結しましたことから、今後、健康増進分野等で連携可能な事業について検討してまいりたいと考えています。

## (4) 医師会との情報交換は定期的に行なわれているのか。

**【回答／健康福祉部長】**医師会と関係する課では、それぞれ委員会等を設置し、事業等に関する意見交換などを定期的に行っています。

1例を挙げますと、健康増進課では、乳幼児健診、予防接種業務に関する「母子保健・予防接種専門部会」、また、健康診査、がん検診業務に関する「成人保健専門部会」を年2回開催し、日頃の事業等に関する意見交換等を行なっています。

**【再質問】 介護福祉課との関係はとり合っているのか？**

**【回答／健康福祉部長】**委員会として設置されたものについては定期的に行っています。

それ以外では、医師会との情報交換はできていない状況ですが、地域包括ケアシステムの構築についての検討においては、第6期介護保険事業計画策定のための、日常生活圏域ニーズ調査の分析を行い、その結果による新たな課題も踏まえ、医師会等と連携していきたい。

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。市政の最新情報を求める方は私のブログやツイッターをご覧ください。(随時更新しています)市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しく申し上げます。

ぐんじとしのり